

## 広域観光周遊ルート形成促進事業における関西のルート形成計画について

平成27年5月28日  
広域観光・文化振興局

## 1 ルートの名称

主題： 『 美の伝説 』  
(英訳： THE FLOWER OF JAPAN, KANSAI )  
副題： 『「日本の美に会う 5つの世界遺産と7つの絶景 』

- ※ 5つの世界遺産 古都京都の文化財、古都奈良の文化財、姫路城  
法隆寺地域の仏教建造物、紀伊山地の霊場と参詣道
- ※ 7つの絶景 天橋立、神戸夜景、鳥取砂丘、鳴門渦潮、彦根城  
山陰海岸ジオパーク、三方五湖

## 2 コンセプト

古くから日本の都として、常に歴史の中心に位置し、日本の歴史を創り上げてきた関西。1400年の悠久の時を超え、いにしへの歴史と文化・自然が織り成す魅力、非日常との出会い。5つの世界遺産をはじめ、信仰の聖地を巡り、日本の精神性や生活文化の美意識を知る旅。まさに日本の真髄にふれる、それが「美の伝説 (英訳：THE FLOWER OF JAPAN, KANSAI)」である。

## 【考え方】

関西は、古くから日本の都が置かれ、様々な歴史・文化や信仰が生まれた聖なる地であり、悠久の歴史・文化が存在することについて、国内で他の追随を許さない絶対的な地位にある。この特性を活かし、外国人観光客に5つの世界遺産をはじめとする歴史遺産や絶景を巡り、また、古代から現代に及ぶ時間軸を通して関西に来ないと体感できない日本の精神文化や美意識にふれていただくことができる。

あわせて関西には、外国人観光客に人気の高い和食や産地グルメ、ショッピング、温泉、和のしつらえなどのほか、花見や紅葉、地域の祭りや伝統行事など季節感あふれる観光資源が年間を通して豊富にあり、しかも、こうした多様な魅力が発達した交通網により1～2時間程度の移動範囲で体験できることも大きな特長。

主なターゲットは、訪日外国人旅行者数が急速に伸びており、関西への訪問客も多い東アジア、東南アジア市場及び比較的長期間滞在する欧米系のリピーター市場とする。日本の歴史・伝統文化体験等のコンテンツは、こうした外国人観光客の関心は高い。

## 3 ルート

別紙のとおり

## 【考え方】

ルートについては、外国人観光客の旅程や宿泊数のパターンを考慮し、「8の字のルートが分割して商品化しやすい」、「回り方にバリエーションがもてる」などの有識者・専門家の高い評価を踏まえ、8の字のルート（6泊7日）を基本に、関西の観光資源の層の厚さを活かし、北地域回り及び南地域回りのルート（5泊6日）、北陸新幹線金沢駅経由で関西を巡るルート（3泊4日）の4つの周遊のバリエーションを設定。

## 4 目標

26年度に策定した関西広域連合「関西観光・文化振興計画」、関西経済連合会「関西広域観光戦略」に同じ数値目標を掲げており、広域観光周遊ルートの形成による集客効果を関西全体に波及させ、目標達成に効果的に活かしていく。

数値目標(目標年 2020年)

関西への訪日外国人訪問率	40% (2013年 33.3%)
関西への訪日外国人旅行者数	800万人 (2013年 345万人) ほか

## 5 推進体制

### (1) オール関西としての取組

構成： 関西広域連合、奈良県、福井県、関西経済連合会、関西地域振興財団(事務局)  
歴史街道推進協議会、日本旅行業協会関西支部、関西鉄道協会、JR西日本、  
近畿バス団体協議会、新関西国際空港

### (2) 計画策定において有識者・専門家、外国人の意見を尊重

#### 有識者・専門家

日本旅行業協会関西支部長(JTB 西日本 代表取締役社長) 光山清秀 氏  
大阪府立大学観光産業戦略研究所長 橋爪紳也 氏  
大阪観光局長 溝畑 宏 氏  
新関西国際空港(株) 代表取締役会長 福島伸一 氏

#### 外国人

米国総領事館 ダーリン領事  
フィリピン総領事館商務部 マンラピッグ商務代表

### ※今後の予定

6月4日(木) 広域観光周遊ルート検討委員会WGにおいて各申請者からプレゼン  
6月中～下旬 国土交通大臣名でルート認定を決定  
(認定後、1ヶ月程度で事業計画を策定し、具体的事業に取り組む)

# 関西広域観光周遊ルート

## 『 美の伝説 』

英訳 : The Flower of Japan , KANSAI

